

トヨ耐熱しん 第32種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

- しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。（しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。）

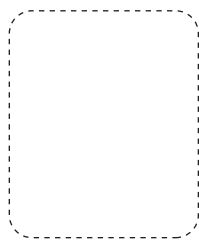
商品コード 11281207 品名 タイネツシンクミタテ

適合する機器の型式表	参照
■トヨストーブ RC-D36C・D36D・W36E・W36F・ PW36E・PW36F NRC-D36E9・D36E1・W36E2・ W3615E3	①



T4963505999322

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第32種
呼び寸法	φ85×2.5
種類	普通筒しん
からやきの可否	からやき可



JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

品番：8424000680

株式会社 トヨトミ

ホームページ <http://www.toyotomi.jp>

本社 〒467-0855
 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
 フリーコール 0120-104-154
 TEL (052)822-1144
 FAX (052)822-2742

株式会社 トヨトミ

製造 NK

8424000685

F-⑥

■特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

ここに示した事項は **⚠注意** を表示しています。

- ⚠注意**： [この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。] **!** マークは「指示」 **🚫** マークは「接触禁止」

⚠注意(CAUTION)

★適合する機器の確認

適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
 予想もしない事故が発生するおそれがあります。



確認

★保護具の着用

機器の分解時は、保護具(手袋など)を着用してください。
 誤ってけがをするおそれがあります。



指示

★高温部に注意

必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
 やけどのおそれがあります。



接触禁止

★乾電池を取りはずす

必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。
 やけどや感電のおそれがあります。



指示

★廃棄するとき

交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。
 廃棄処理の際、予想もしない事故が発生するおそれがあります。
 灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。



指示

お願い(NOTICE)

★しん取り付け後の確認

- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

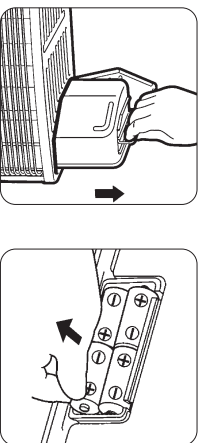
★変質灯油や不純灯油に注意

変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
 異常燃焼や故障(点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など)の原因となり、しんの寿命が短くなります。

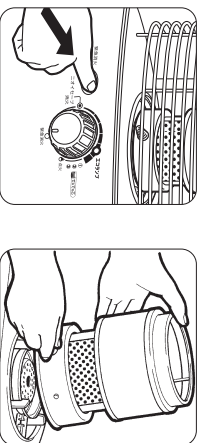
★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。

★しんを交換したときは、給油後、約20分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火してください。充分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

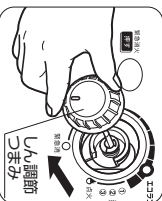
1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。



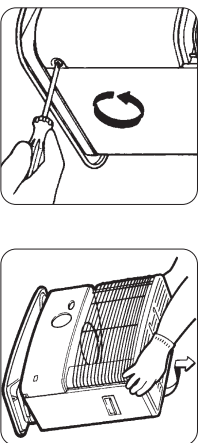
2 緊急消火ボタンを押して、対震自動消火装置を動作させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。



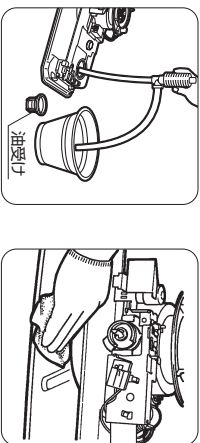
3 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。



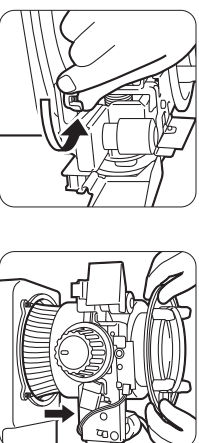
4 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。



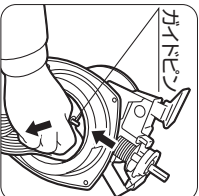
5 油受けさらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けさら内の灯油を抜き取ってください。残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。置台と油受けさらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。



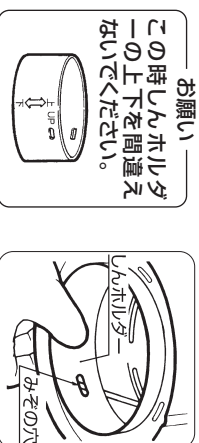
6 しん調節器を固定している蝶ナット4本を取りはずし、しん調節器をゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。置台後部の電池ケースからコードを引き抜いてください。



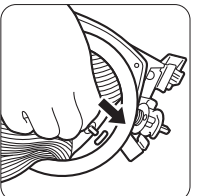
7 古いしんを四つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん調節器からはずし、しんを下へ引き抜いてください。この時、しんホルターを変形させないように注意してください。



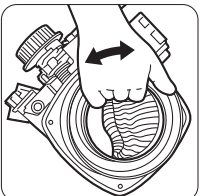
8 しん調節器内側のみその穴と、しんホルターの穴を合わせてください。



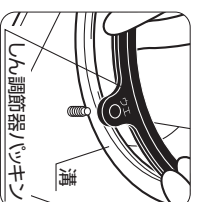
9 新しいしんを軽く四つ折りにして、しんホルターの穴と、しん調節器のみその穴にしんのガイドピンを3箇所差し込んでください。この時、しんホルターを変形させないように注意してください。



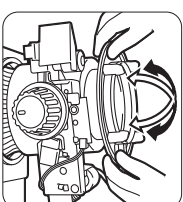
10 しんをしん調節器の内側に指で押しつけながら充分になつかせてください。



11 しん調節器(ツキン)が正しくセットされているか確認してください。しん調節器(ツキン)の表示(ウエ)位置を合わせて取りつけてください。



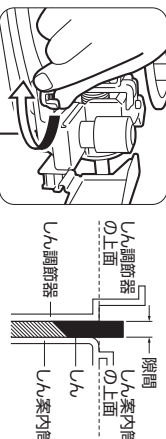
12 しんの下部を広げ、しん案内筒としん調節器にしんをなつかせるために、前後左右に動かしながらしん調節器をはめ込んでください。



お願い
しんのほつれや、糸が油受けさら外に出ないように注意してください。

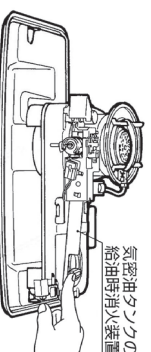
13 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、しん調節器の蝶ナット4本で均等に締めてください。

1箇所のみを締め付けるのではなく、均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面(燃焼筒の面)の高さが揃っていることを確認してください。(揃いが悪いと炎が片燃えします。)

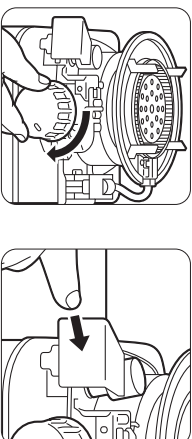


14 しん調節器にしん調節つまみを差し込み、しん調節つまみを右(時計方向)に止まるまで回して、しんを上げてください。

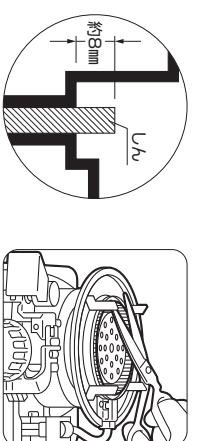
■気密油タンクの給油時消火装置のアームを指で押し下げた状態で、しん調節つまみを右方向に回してください。



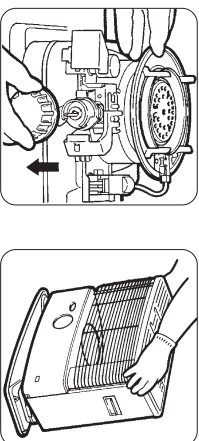
感震部を押し、対震自動消火装置を動作させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2~3回確認してください。しんの上下がスムーズでない場合は、しんのなつかせがたが悪いためです。もう一度1ページ10項からやりなおしてください。



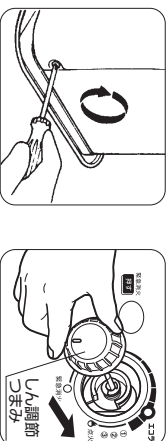
15 しんを最大に上げた時、しんの高さは標準(である)つまみの①の穴に固定ピンの凸部を入れてください。しんが約8mmの高さに均一に揃っていることを確認してください。しん上端の糸のほつれ等は、はさみで取り除き、きれいに整理してください。右下のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。



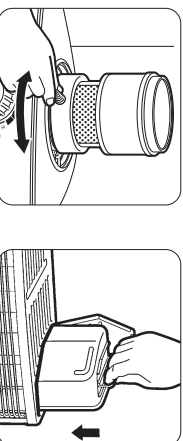
16 しん調節つまみを引き抜き、本体をかぶせてください。この時、1ページ6項で電池ケースからコードを抜いている場合は元通りに差し込んでください。



17 本体の両側面と背面を、止めねじ3本で固定してください。しん調節つまみを差し込んでください。



18 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースにⓐを正しく合わせて入れてください。



19 油タンクを挿入してから20分以上待つて、しんに灯油が充分吸い上げられたからしん調節つまみを回してしんを上下させ、点火操作をして、各部分がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

